

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

56
2018/10



当院は大洲医療圏域の
救急医療を守るために日夜奮闘しています



Zoom Up!
OozuchuoHospital

病院
案内

【マルチスライスによるCT画像で早期診断】

地域の救急病院として

当院は、昭和48年の開院以来、通常診療に加えて大洲市・喜多郡の救急医療を担っており、現在も週3回(金・土・日曜日)、脳神経外科系の救急においては365日体制で担当しています。医師不足による地域の救急医療体制の崩壊は年々深刻化し、大洲医療圏域においても救急医療機関の疲弊や弱体化が進んでおり、当院でも将来的な救急医療体制の維持が重要な課題となっています。地域の皆様には、当院

における救急搬送や救急医療体制の現状を少しでも理解して頂き、適正な受診をお願いし、双方にとってより良い救急医療体制が出来ればと思っています。

大洲医療圏域の救急医療体制について

通常の救急医療体制では、救急医療機関を重症度に応じて3段階に分けて対応しています。大洲医療圏域では、一次救急(入院の必要がなく帰宅可能な軽症患者に対する医療)は限定

的に急患センターが対応、二次救急(入院治療や手術等を必要とする重症患者に対する医療)は、管内医療機関による輪番制での対応が行われています。当院は、金曜日から日曜日の3日間を24時間体制で対応しており、脳神経外科については365日24時間受け入れ体制での対応を行っています。二次救急医療機関では対応できない高度な処置が必要な重篤患者さんは、管轄外の三次救急医療機関に対応を依頼しており、愛媛県立中央病院や市立宇和島病院等がこの医療機関にあたります。

救急車で搬送された患者さんへの 迅速な対応を行っています



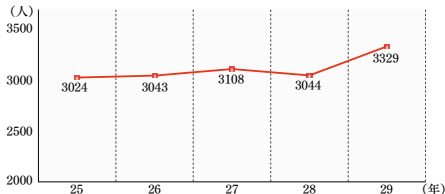
Zoom Up!
OozuchuoHospital

病院
案内

【救急処置室での診察・処置】

昨年の大洲医療圏域における救急搬送者数は3329人でしたが、人口が減っている中で増加傾向にあります。

■救急車搬送人員数

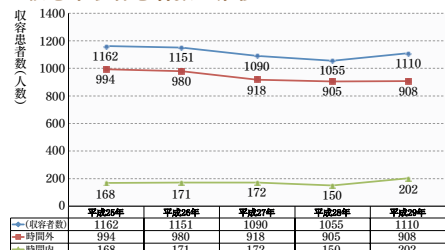


※大洲地区広域消防事務組合 消防年報より集計

大洲医療圏域の救急車収容患者の 3割は当院に搬送されています

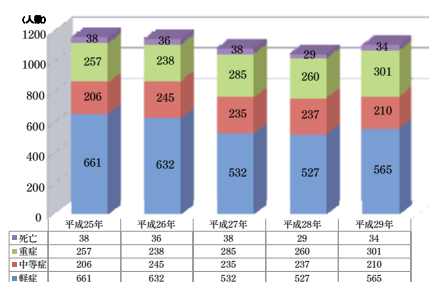
大洲医療圏域における救急車収容患者の中で、当院に搬送される患者数は年間1100件程度ですが、その半数は入院を必要としない軽症

■救急車収容患者数の推移

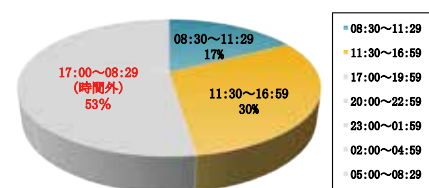


の方が占めています。また、時間外の収容者が5割以上を占めることから、時間外(夜間帯)における対応が求められ、医師の負担を増加させる原因の一つにもなっています。

■収容者の傷病の程度



■救急車収容時間の割合



当院における救急医療の現状

二次救急医療機関である当院では、救急車で搬送される患者さん以外にも、徒歩や自家用車等で来院される患者さんの診察も行っています。夜間帯だけでも15~20名の受診者があり、多

いときには30名近くの患者さんが診察に来られます。常勤の医師が夜間当直をする場合は、日勤帯の通常業務終了後に夜間当直業務を行い、そのまま翌日も連続して日勤業務に就き、外来診察や入院患者の対応、検査、手術等も通常通り行っています。また、脳神経外科領域では、2名の医師と麻酔科医1名で24時間365日の受け入れ体制を維持しています。他の医療スタッフが夜間当直で24時間勤務後に交代制をとっているのに対し、医師はそのまま診療を継続しますので、多大な長時間労働を強いられています。その負担を少しでも軽減するために、夜間の救急当直を院外の非常勤医師に対応してもらうなどの改善策を講じてはいますが、夜間当直回数を1回減らせるかどうかで長時間労働の解決には至っていません。医師の長時間労働は、労働基準法の観点からも問題視されており、社会全体で働き方改革が叫ばれている中で、その対策が急務となっています。このように過酷な環境の中で、医師の不断の努力と非常勤医師の協力により何とか救急医療を担っているのが現状です。

救急医療体制維持への課題

地域医療においては、特に医師の確保が非常に困難な時代になってきており、当院も年々常勤医師が減少し、その高齢化も問題になってきてい

ます。深刻化する医師不足は、地方の病院全体での課題として検討されてはいますが、解決する手立てがなかなか見つからないのが正直なところ

です。また、救急で受診する方の中には軽症の方も多いのですが、初期救急（一次救急）に対応する急患センターも、診療科や対応時間が限定的であり、根本的な解決には至っていないのが現状です。

■当院の課題

※人的資源（マンパワー）の不足

- ◇ 医師の確保が非常に困難（常勤医の減少）
- ◇ 医師の高齢化

	常勤医師（人）	非常勤医師（人）
平成21年1月	15	7
平成22年1月	14	9
平成23年1月	14	9
平成24年1月	13	9
平成25年1月	13	9
平成26年1月	13	8
平成27年1月	13	10
平成28年1月	12	13
平成29年1月	11	17
平成30年1月	11	19

常勤医師の平均年齢（現在）
56.9歳

患者さんへのお願い

大洲圏域の救急医療体制は、一医療機関の医師が数名増加すれば解決する問題ではなくてきており、このままの状態が続くようなら現在の救急体制は崩壊すると考えられます。個々の医療機関だけでなく、地域全体で考えていく問題ではありますが、救急医療を存続するためには、患者さんにも次の2点について一度考えてみていただ

けませんか。①通常の診療時間に受診できるのに、自己都合で夜間等に救急外来をご利用なさってはいませんか？②休日や夜間に症状が出た場合でも、通常の診療時間内に受診することは出来ませんでしたか？

地域で安心して生活するためにも、救急車の適正な利用や医療機関への適切な受診が、ご自身やご家族の大切な命を守る事に繋がります。皆

さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

救急功労者総務大臣表彰を受賞

開院以来地域の救急医療に携わってきた当院の地域における救急医療への貢献に対して、平成26年に「愛媛県救急医療知事表彰」、翌年の「救急医療厚生労働大臣表彰」の受賞に続き、今年は病院長に対して「救急功労者総務大臣表彰」が授与されました。これは、平素から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもので、今年

は全国で個人表彰13名及び団体表彰1団体が受賞、その中の1人として当院の病院長が選出されました。愛媛県では初めての受賞で、大変名誉なことであると共に、一民間病院として今後ますます厳しくなる地域医療に対して、如何に貢献していくのか、身の引き締まる思いです。これからも、近

隣の医療機関と協力しながら、地域の皆さんが安心して医療を受けられるよう努力してまいりたいと思います。



からだに効く
レシピ

Pointo
さつまいもの甘みが
アクセントになって、
野菜がたっぷり
食べられます。

大洲中央病院栄養科

さつまいもの五目きんぴら

■材料（4人分）

さつまいも……………1本	【合わせ調味料】
豚肉（切り落とし）……200g	水……………3/4カップ
にんじん……………1/2（70g）	酒……………大さじ2
しめじ……………150g	みりん……………大さじ2
さやいんげん……………100g	しょうゆ……………大さじ1
	塩……………小さじ1/2
ごま油……………大さじ1	炒り黒ごま……………大さじ1

■作り方

- ①豚肉は一口大に切る。
- ②さつまいもは皮つきのまま斜め1cm厚さの輪切りにし、さらに1cm幅に棒状に切り、水に5分ほどさらす。にんじんは6センチ長さ、5mm角の細切りにする。さやいんげんはヘタを切り落とし、長ければ半分に切る。
- ③合わせ調味料の材料を合わせておく。
- ④フライパンにごま油大さじ1を熱し、豚肉を強めの中火で炒め、ほぼ色が変わったら、水気をきったさつまいも、にんじん、さやいんげん、しめじの順に加えていためる。油がまわったら、合わせ調味料を加え、汁気が飛ぶまでときどき混ぜながら6～7分炒める。炒り黒ごまを散し、火を止める。



すぐそばにある絵画
院内美術館 23

『会話』
カシニョール 作

日常の一瞬の場面にある、
憂いを帯びた甘美な世界

今回ご紹介するのは、本館2階中央材料室通路にある、エレガントな女性像を描く個性的な作風で、ボリシヨイ・バレエ団の衣裳と舞台装置を手掛けるなど、新しい分野にも精力的に取り組む、カシニョールの『会話』。赤と緑のコントラストが女性の存在感を際立たせた、カシニョールの世界観溢れる作品です。

カシニョール／1935年
パリ生まれ／ジャン・ス
ヴェルビに師事。1969
年東京・三越百貨店にて
個展。1970年アメリカ、
ウォーリー・フィンド
レー画廊にて個展。

次号は青山義雄
『風景・カフeteriaと犬』をご紹介します。

健康講座

参加自由
入場無料

■会場 大洲中央病院 2階 第一研修室
■時間 午後2:00～3:00
※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※場所を変更する場合があります。

【開講予定】
◎10月25日（木）
＜試食会＞バランスの良い食事って、どんな食事？
※時間／12:30～13:30 ※申し込みは締め切りました ……栄養科

◎11月22日（木）
流行シーズンが間もなく到来！～ノロウイルス感染予防～
流行シーズンが間もなく到来！～インフルエンザ感染予防～
……………環境保全院内感染防止対策委員会

◎12月20日（木）
「尿がもれる」「おしっこが近い」そんなお悩みないですか？…医師（泌尿器科）
みんなで貯筋 元気な老後に備えて（寝たきり予防）
※動きやすい服装でお越しください ……リハビリテーション科

看護学生の臨地実習を受けて

当院では、昨年度より人間環境大学松山看護学部の臨地実習を受け入れており、今年も8月23日から4日間、基礎看護学実習として1年生5名を受け入れ、看護職者の役割や機能、療養環境といった基礎的なところを学んでもらいました。私達は2年目ということもあり、幾分リラックスしての受け入れでしたが、実習生の皆さんは、初めての实習に少し緊張してのスタートでした。病棟実習では、患者さんにご協力頂き、看護ケアの見学やお話をする機会を持つことができ、実習生も緊張しながらも日々積極性を発揮し、自らコミュニケーションを取る姿もみられました。最終日には、患者さんとの関わりで得たことや看護師から学んだことをまとめて発表し、看護師になる思いを新たにしたいとの嬉しい意見もありました。また、私達も実習生を受け入れることで、新たな視点に気づかされることもあり、指導すると共に学びの機会にもなりました。最後は、担当させていただいた患者さんにご挨拶をして終了となりましたが、皆さん笑顔で声をかけて頂き、実習生も大変励みになりました。

最後に、今回の実習にあたりご協力いただきました患者さん・ご家族の皆さま本当にありがとうございました。

臨地実習指導者 亀山 州平

親睦会 いもたきの開催

9月27日に開催されたいも炊きに、リハビリテーション科からも10名が参加しました。最初は、それぞれの部署で固まり会話をしていたのですが、時間が経つごとに少しずつ場の雰囲気が盛り上がり、気付いた時には他部署との交流の場となっていました。私も、医療相談員の方や医師と話す機会があり、多忙な職場での雰囲気とは違った新しい一面を見ることが出来ました。仕事のことでだけでなく、お互いのプライベートな話をするうちに親近感がわき、皆さんの表情も和んでいました。チーム医療では、他職種間の連携が大切ですが、普段の仕事の中では関わる人も職種も限られており、私自身も時間に追われて余裕がなく、他部署との情報交換や連携が少ないのが現状です。今後も、こういった機会を無駄にせず、出来るだけ多くの職員と交流し、些細なことでも情報交換が行えるような関係性を築いていきたいと思っています。



リハビリテーション科 濱田 悠介

火災訓練に参加

8月27日、大洲消防署立ち会いの下、火災避難訓練を実施しました。訓練では、防災設備の点検、初期消火(模擬)、避難誘導、通報訓練等を行いました。実際に夜間、東館2階病棟で火災が発生したという設定で、初期消火、院内での避難誘導の放送、患者の避難誘導等、実践しながらの訓練を行いました。参加した職員は、患者役とスタッフ役にそれぞれ分かれて、緊張感のある中、真剣に訓練を行いました。「緊張して思うように動けなかった。」「もう少し職員同士の指示・連携が上手くいけば良かった。」等の意見もありました。今回の訓練で消防署の方より指摘頂いた反省点を今後の訓練に活かし、また地震や水害等、大規模災害が起こった際でも、落ち着いてしっかりと行動することが出来るようにしたいと思います。



医事課 中島 友彦

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1 診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 誠司	大久保啓二
	2 診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3 診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
	4 診			清家 愛理	清家 愛理	竹越 大輔(第2・4)	
外科	1 診	森岡 徹		森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2 診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1 診	栗田 英明		沖永 昌弘	栗田 英明	沖永 昌弘	沖永 昌弘
	2 診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1 診(新患)	西原 潤		西原 潤	瀬野 利太	重川 誠二 末廣 諭 (隔週)	橋本 尚樹(第1・3) 戸田 茂樹(第2・4)
	2 診(再診)	瀬野 利太		瀬野 利太	西原 潤		西原 潤
形成外科						森 秀樹(第1・3・5) 泉本真美子(第2・4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

救急診療のみ…11月3日(出)、11月23日(金)、12月23日(日)、12月30日(日)

休診日……………火曜、水曜、10月8日(月)、12月31日(月)、1月1日(火)、
1月2日(水)、1月3日(木)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

最近、院内全体のカーベットの貼り換えを行いました。床の汚れが一掃されると共に、少し華やいだ雰囲気になり、なんだか気分も一新されたように感じるので不思議です。

私も先日大きく環境が変わる出来事があり、実家を離れ新居に引っ越しました。今まで親に甘えていたことを痛感しながら、今はただ日々の仕事や家事に追われる毎日です。新しい生活では様々な発見があり、新しいことにチャレンジするきっかけにもなりました。仕事でも気分一新、これからも地域医療に貢献できるよう頑張ります。

発行／社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集／広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事)／
京河 雅史(放射線科)／伊場 紀子(看護副部長)／
道休 由佳里(看護師長)／
井上 結希(リハビリテーション科)／
大西 修平(リハビリテーション科)／
松本 奈緒(総務課)／岡山 啓子(栄養科)／
中來田 友里恵(医事課)